
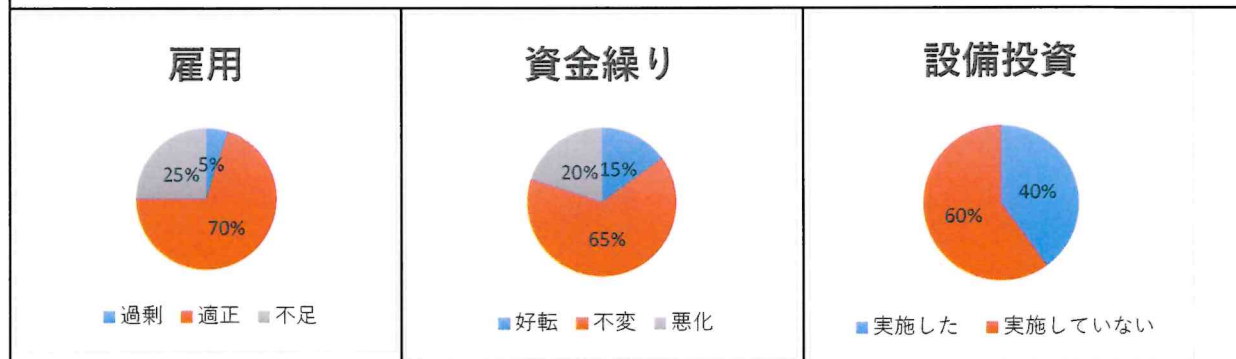


稲美町の経済の動き				第5号 発行月：令和4年7月 調査対象：令和4年4～6月				
《業況》				《採算》				
製造業		建設業		製造業		建設業		業況 前期 
良い	2	良い	0	黒字	1	黒字	1	
普通	0	普通	3	収支トントン	0	収支トントン	3	
悪い	3	悪い	1	赤字	4	赤字	0	今期 
小売業		サービス業		小売業		サービス業		
良い	1	良い	1	黒字	3	黒字	1	
普通	4	普通	2	収支トントン	2	収支トントン	5	
悪い	0	悪い	3	赤字	0	赤字	0	

【稲美町の今期の景況】

全体的にコロナ禍の影響が続き、売上が落ち込んでいる。加えて、半導体不足、原材料価格の上昇、光熱費の高騰が重なって経営を圧迫している。先行きについては、見通せない状況が続いているが、事業所の中には、補助金を活用し販路開拓の取り組み等を行って、この状況を克服しようと努めている事業所が見受けられる。



【兵庫県の景気動向】

兵庫県の景気は、持ち直しの動きを見せつつ、総じて厳しい状況となっている。企業の業況判断は、足元が悪化し、先行きも悪化の見通しである。個人消費は、持ち直しの動きとなっている。輸出は増加しており、設備投資は増加計画にある。生産は一進一退の動きとなっている。有効求人倍率は前月を上回った。雇用者所得は弱めの動きとなっている。倒産件数は前年を下回った。

【全国の景気動向】

景気は、緩やかに持ち直している。先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的に金融引締めが進む中での金融資本市場の変動や原材料価格の上昇、供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。

【今季の景況を踏まえた経営指導員のコメント】

町内において依然として厳しい状況が続いている。商工会では、販路開拓のための「持続化補助金」等の各種補助金申請支援、「兵庫県中小企業等原油価格・物価高騰対策一時支援金」の申請支援、運転・設備資金を確保する「マル経融資」等の金融支援、経営全般について相談できる「専門家派遣」や専門家による相談窓口を設けているので、ぜひご活用いただきたい。